

テーマ ジェンダーと教育 (テキスト「教育の基礎と展開」第9章参照)

1 前回のリアクションを読んだ感想、一番心に残った歌詞のフレーズ

は? 全体的におんな、大学に入って初めて学ぶ心理学教育学が多かった。教科を好きになるのは、先生と個人個人の興味。私は成績が良かったからというのでも好きなのが多かった。好きな教科が意外と保健体育と算数が多かった。私は英語が、たいてい理数系が多いというのがとても驚きました。見事に興味を持つためには、他にも、ゲームとか、体験があつても参考になるなと思いました。

2 「山口百恵の軌跡」(青い性→新しい女→日本の母)をどう思いますか。

「青い性」というのが、とても淡い恋の歌で私自身共感しました。でも、次の「新しい女」→「日本の母」というのが、山口百恵が「女性」として自立していくことにより、生きてきたことでの感じたこと、大切なものを感ぜられたように思いました。「女性」として、人間のひととして自立することの大切さを感ぜられました。

3 「学校におけるジェンダー」(谷田川ルミ)が指摘している点をまとめなさい。

日本の学校教育は、法的に男女平等と謳っているが、実際の学校教育の中には、「男子」と「女子」に対する処遇の違いがある。こうなるのは生徒たちが発信するメッセージ、「かくしたカリキュラム」により、子どもたちが自然と固定的なジェンダー観が身につけるエージェントとなっている可能性がある。よって、学校は、インフォーマルなかたちで性別による不平等が発生してしまう場でもある。このようにしていかなる場合にも、社会全体のジェンダーに対する意識の変革も必要だから、教育現場もジェンダーに対する多角的な視点をもつことが必要となる。

4 「セックスとジェンダーのずれ」(上野千鶴子)の要点をまとめなさい。

セックスやジェンダーを決定する生物学的還元説を否定する。もし遺伝子やホルモンが性差を決定するならば、患者たちは性別誤認にしかかからず、自然に「男性的」あるいは「女性的」な心理的特徴を発達させていた。人間にとって性別とはセックスよりジェンダーである。また人間においては、遺伝子やホルモンでなく言語が考える。

5 テレビコマーシャルで、男性と女性の役割は、どのように描かれることが多いか。

CMでは、「主役」が女性から男性に変わっている。共働き家庭の増加により、家事をする夫が増えている。これにより、男性は、「家事初心者」や「趣味家事」の役割に描かれている。女性は、一方、夫に家事をしてほしいと考える仕事に打ち込み、自分自身のために調理をいかに食べるような感に描かれている。

6、今の日本の社会で男と女でどちらが、不利(生きづらい)でしょうか

(多賀「男子をめぐる問題」参照) 男の方が不利だと考えた。なぜなら、女性と違って、身体的なものも、学業でも求めるものが多いから。

7 あなたが教師になったら、「男らしさ」「女らしさ」や、「性別役割分業」に関して、どのように子ども達に教えますか

男らしく、せいかもあるが、平等でありながら、個人個人の個性を尊重、こうあるべき、という考えを破りうるような、視野・心を広く考えてやるように教えていきたいと考える。

8 他の方のコメントをもらう

テーマ ジェンダーと教育 (テキスト「教育の基礎と展開」第9章参照)

1 前回のリアクションを讀んでの感想、一番心に残った歌詞のフレーズは?

①人の涙を見ても向も感じなくなったのは自分の心を殺すのが上手過ぎる哀しいサインだよ
私自身はこの歌も聴いた事はないけれど、とても良い歌詞だなと思いました。
確かにその通りかなと思いました。

2 「山口百恵の軌跡」(青い性→新しい女→日本の母)をどう思いますか。

私は母がよく聴いていたのでよく知っていますが、じっくりと歌詞を見てみると
女の子から女性への成長がよく見て取れます。最初の方では男の人に対してとても
情熱的であったり、悲しんでいたりするが、17才頃からは大人の女性になっていて大人の恋愛をして
その後は恋愛というよりは人生の様々な波に苦悩したりと感慨深い歌詞になっていると思う。

3 「学校におけるジェンダー」(谷田川ルミ)が指摘している点をまとめなさい。

法律上の男女平等、進路選択の男女差(進学率、教師の期待の男女差)
学校におけるリーダーの男女差:男子が先、女子が後(名簿)、管理職は男という男女差
男への期待過剰→男の生きづらさ、学業達成においても身体面においても
常に女子よりも優位であることを暗に要求されている。背負っている期待と重圧
が大変、大きな敗北感を味わうこととなる。

4 「セックスとジェンダーのずれ」(上野千鶴子)の要点をまとめなさい。

生物学的に性別を決定する要素には遺伝子、内分泌、外性器などの異なる次元がある。
「性自認」はその年齢までに強固に形成されており、自分の「性自認」に生物学的身体のほうを
合わせることを選んだ。よって人間として性別とはセックスではなく
ジェンダーであることを明瞭に示した。遺伝子やホルモンが考えるのではなく言語が考える

5 テレビコマーシャルで、男性と女性の役割は、どのように描かれることが多いか。

2008年の時点では女性が食品や掃除洗濯用品共に男性を上回っていたが
そこから2014年にかけて、共働きが家庭が増えたという時代背景もあり、食品のCMで語
をしている人が女性から男性の方が上回った。でも掃除用品のCMはまだ女性が多い。
児童がCMで新伝うシーンではまだ女の子の方が登場が多いようだ。
時代の変化によってこれからどんどん変化があると予想する。

6、今の日本の社会で男と女でどちらが、不利(生きづらい)でしょうか

(多賀「男子をめぐる問題」参照)男性の方が生きづらいと思う。
る着目で見れば、男性はこうあって当たり前、言われることはなくても
今までに作られた男性優的なものがあり、時代が変っても男性優が変っていないから

7 あなたが教師になったら、「男らしさ」「女らしさ」や、「性別役割分業」に

関して、どのように子ども達に教えますか
男らしさ、女らしさ、性別役割分業を教えると共に、それが必ずしも
"絶対"ではないこと、性別≠ジェンダーということもきちんと教えた。

8 他の人のコメントをもらう

(金城)糸田かくかけていて素晴らしいです!